

韓国留学 2017 年前期

文学部 松永 唯里

皆さん、こんにちは。私は2017年3月から1年間、熊本県立大学の姉妹校である韓国祥明大学校へ交換留学生として在籍していました。留学当初は知り合いが誰もおらず不安でいっぱいでした。しかし日本語文学科の皆さんをはじめ多くの人々に支えられて友だちもたくさんでき、健康で充実した留学生活を送ることができました。この報告書を通じて留学に興味を持っている方々の参考になれば幸いです。

3月 3月2日からいよいよ新学期が始まりました。慣れない環境の中で最初は友達ができるか心配でしたが、日本語文学科の学生が積極的に話しかけてくださり授業前や授業終わりによく一緒にご飯を食べるようになりました。しかし最初はなかなか言いたいことを韓国語で伝えることが出来ず、授業が終わると寮に帰り、予習や復習、語彙力をつけるために単語を覚えたりと毎日必死だったことを思い出します。私は1学期に学科の授業を3つ、留学生向けの授業を3つ履修しました。その中の1つである「日本語フリートークング」という授業は日本の原発問題や AI, 死刑制度などのさまざまな時事問題について討論するという授業でした。日本語で討論をするのですが韓国留学生の日本語力の高さと自分の意見を積極的に発言する姿勢にとっても刺激を受けました。左下の写真は私が授業で原子力発電について発表している写真です。



4月 祥明大学校は桜の木がたくさんあるのですが、4月になると学生だけでなく一般の方も花見をしに来ていました。私は日本語学科の友人2人と休日を利用してソウルへ花見にも出かけました。また、4月後半には中間テストが行われました。日本の大学とは異なり韓国の大学は1学期にテストが2回行われます。テスト期間は図書館が24時間開放され、寮の点呼もないので(通常点呼は23時)遅くまで勉強している学生たちの姿が印象的

でした。



5月 5月の初めには大統領選挙がありました。日本の選挙広報活動とは異なり韓国は有権者が音楽を流して目立つように広報活動をしていたりとてもにぎやかな印象を受けました。また学生たちの政治的関心が強く会話の中でも政治の話がよく出てきました。5月中旬には日本語文学科と英文学科の合同セミナー・MTが行われました。大学の学科編成に伴い今年度から合同でセミナーをすることになったようでした。セミナー・MTでは新入生や先輩と話しをする機会にもなりたのしい時間を過ごせました。5月の後半にはオンニたちと一緒に韓国南部に位置する統営(統營)へ2泊3日で旅行にも行きました。自然に囲まれ、食べ物もおいしくリフレッシュできた旅行となりました。



6月 6月中旬には期末テストがありました。ある留学生向けの授業ではグループを作り韓国の民話を題材に自分たちで役割を決め、せりふを考え演劇のようにして発表する課題がありました。テスト勉強の合間をぬって集まり、夜中まで練習したりと大変でしたが当日無事にやり遂げることができ達成感でいっぱいでした。またその課題を機会に仲良くなった中国人の女の子とは時々ご飯を食べたり遊ぶようになりました。祥明大学は中国やウズベキスタンから来た留学生がとても多いので授業を通して各国の文化を学んだり異文化交流をすることができとても楽しかったです。

夏休み 6月後半から夏休みが始まりました。夏休みは6月末から8月初めまで梨花女子大学の近くにコシウォンを借りて生活しました。そして6月の後半から7月の中旬までの約3週間ソウルにある梨花女子大学の短期課程を受講しました。授業は平日14時から17時50分までで主に会話中心の授業でした。私のクラスは日本人やアメリカ人、中国人、台湾人、タイ人で構成される12人ほどのクラスでした。この3週間のプログラムでタイ人の子とはとても仲良くなり毎日授業が終われば一緒にご飯を食べたり休日には遊びに出かけたりもしました。自分の韓国語能力を伸ばすことができただけでなく同年代の違う国の人々と交流し仲良くなれたことは私にとってとても大きな財産になりました。短期課程が終了した後は、日本から家族や友達がやってきたので一緒にソウルを観光したりと充実した夏休みを過ごしました。特に韓国の伝統衣装である韓服を着て景福宮の中を観光したことは韓国の歴史にも触れることができとても楽しかったです。また韓国語能力も留学当初に比べると伸びたと実感でき自分に自信を持つことが出来ました。

